糖尿病

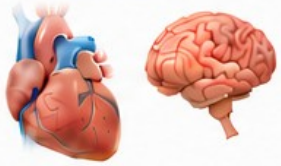
血液中の血糖値が慢性的に高くなる病気で、
インスリンの分泌低下や作用不足によって起こります。
初期は自覚症状が乏しいことが多いものの、長期間放置すると
全身の血管にダメージを与え、さまざまな合併症を引き起こします。
特に糖尿病は、心脳血管疾患のリスクを大きく高める重要な疾患であり、
早期からの適切な管理が不可欠です。

早期発見・適切な管理で未来の健康を守ります

- 定期的な検査・受診を心がけましょう
- 生活習慣の改善と治療の継続で合併症のリスクを減らしましょう

主な合併症

動脈硬化（心筋梗塞・脳卒中）



心臓や脳の血管が詰まったり、狭くなったりするリスクが高まります。

糖尿病性腎症

腎臓の働きが低下し、進行すると透析が必要になることもあります。

糖尿病性網膜症（視力低下・失明）

網膜の血管が傷つき、視力低下や失明につながることがあります。

糖尿病性神経障害

手足のしびれ・痛み、感覚の低下などが起こり、足の壊疽につながることも。

主な原因

食生活の乱れ（過食・糖質過多）

運動不足

肥満

遺伝的要因

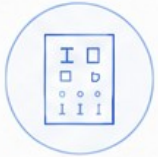
当院の診療の特徴

- **血糖コントロールを基本とした個別化治療**
  患者さま一人ひとりに合わせた治療計画を立てます。
- **動脈硬化の評価と心血管リスクの管理**
  血管の状態や心臓の検査を行い、将来のリスクを予防します。
- **合併症の早期発見・予防**
  定期的な検査で合併症の進行を防ぎ、生活の質を守ります。
- **生活習慣病のサポート**
  スタッフによる食事指導や運動指導を行います。

定期的な検査が大切です

血液検査（HbA1c・血糖値など）

尿検査（尿たんぱくなど）



眼底検査

頸動脈エコー・血管の評価

心電図・心エコー（必要に応じて）

糖尿病は「自己管理」と「医療のサポート」でコントロールできる病気です。
一緒に、将来の健康を守りましょう。

画像はイメージ画像です。